

平成 30 年度事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

国内の生産活動は一進一退の状況にある一方で、昨年から世界経済は回復基調を維持しており、輸出は手堅く増加が見込まれる。これに伴い、国内の設備投資等も増加傾向にあることから、企業部門主導で国内景気は世界経済同様に回復基調となることが期待される。

本年度は、昨年度に更新された「総合物流施策大綱 2017－2020」にある「強い物流」の実現に向け、関係官庁、関係協会・団体のご指導ご協力を仰ぎ、また、会員各社との協力により、関連諸活動に大いに注力して着実に歩みを進めたい。

以上のような内容を踏まえ、次の事項を活動の主眼とする。

<本年度活動の主眼>

物流業界の労働力不足解消に向けた物流生産性革命等に対応するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

コネクテッドインダストリーズに資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

災害に強い物流システム構築に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

我が国物流システムの国際展開促進と商取引の国際展開増加に対応したパレット及び関連物流機器・容器の利用促進と製造に関する啓発（一層の品質管理等）

スマートサプライチェーンの構築に資するパレット及び関連物流機器・容器の利用促進

物流に対する国民一般の理解を深めるためのパレットに関する啓発活動

パレット及び関連物流機器・容器に関する調査研究

パレット及び関連物流機器・容器に関する品質表示策（JPAマーク認証制度等）推進

パレット及び関連物流機器・容器の製造販売業・レンタル業に携わる人材育成

パレット及び関連物流機器・容器産業に関する情報の収集および提供

パレット及び関連物流機器・容器に関する内外関係機関との交流及び協力

パレット分野に関する規格・基準の作成及び確認

新規会員勧誘活動及び地域活動の拡充

その他、協会目的を達成するために必要な事業（講演会・セミナー等）の随時実施

そして、主眼に基づき次の通り計画（1. 国内活動 2. 国際活動）を策定し収支予算書を計上する。

<事業計画>

1. 国内活動

- 1) 部会活動と協会ホームページを活用した情報共有と意見交換により、環境変化（IoT、ビッグデータ、AI 等による様々な変化）や諸課題（総合物流施策大綱における諸課題等）への対応を強化する
- 2) 物流人材の育成やパレットの有効な利活用に寄与すべく、教育研修事業を確実に進める
- 3) 協会ホームページのバナー広告を活用することで会員各社の PR を展開し、パレット等の需給マッチングサービスの充実を図る
- 4) アジアのパレットの日懇親会の実施やパレットブックの販売、ホームページのパレットに関する解説等を通して、パレットの認識向上のための幅広い活動により業界全体の PR と国民一般に対する啓発活動の充実を図る
- 5) JPA マーク認定制度を充実させ、品質や安心安全の PR の新たな体制構築を目指すと共に、会員の支出に見合った公平なしくみ作りを引続き検討する
- 6) 災害時のパレット及び関連物流機器・容器の有効活用を支援するため、危機管理体制を構築する
- 7) 平成 30 年通常総会と懇親会と平成 31 年賀詞交歓会を開催する
- 8) 新規会員（正会員、賛助会員、維持会員）勧誘活動の強化

2. 国際活動

- 1) アジアシームレス物流フォーラム（5月中旬 国内）
- 2) APSF アジアパレットシステム連盟 2018 総会（5月下旬 中国・広州）
- 3) 国際パレット会議（11月下旬 中国）
- 4) 植林活動（実施場所、実施時期を含め再検討中）
- 5) 日中韓マーキングシステム専門委員会（複数回開催予定）
- 6) その他、当会の活動に関連する国際活動を適宜実施

以上